

# 古民家活用を核にした伝統的集落の活性化に関する研究 その2

## —姫路市網干地区旧水井家住宅を事例として—

株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所 岡崎 まり  
明石工業高等専門学校 八木 雅夫  
明石工業高等専門学校 専攻科 建築・都市システム工学専攻 桃野 みゆき  
香川大学工学部 釜床 美也子

### 1. 姫路市網干地区での研究の背景・目的

近年、伝統的集落においては少子高齢化や過疎化等が進行し、相続の問題や空き家の発生を契機として歴史的建造物のある町並みが失われつつある。一方で、歴史まちづくり法が施行されるなど、地域固有の歴史資源を活かしたまちづくりの重要性が認識されつつあり、歴史的景観まちづくりの活動が全国各地で展開されている。

地域資源を活かしたまちづくりを進めるためには、住民が主体となった歴史的建造物等の維持・保全が不可欠であることから、まずは伝統的集落内に居住する住民の地域に対する関心や愛着を高めることが重要である。そのため、まちづくりの初期段階において、地域の歴史的建造物に対する住民の意識を高めるとともに、地域内の連携を生み出す1つの手法として、イベント開催が行われている事例が見受けられる。しかし、全国各地で実施されているイベントの中には、イベントを開催したものの、住民主体のまちづくり活動へ発展しなかったケースも見られる。

そのため本研究においては、姫路市網干地区を対象地域とし、現在姫路市が所有している旧水井家住宅を活用した社会実験等を実施することにより、歴史景観まちづくりを進めていく初期段階においてイベントが果たす役割や効果、地域主体のまちづくりへ結び付けていくための手法について分析を行うことを目的とする。

### 2. 姫路市網干地区での研究の方法

本研究は、平成22年11月に姫路市に寄附され、今後の活用方法について検討が進められている旧水井家住宅で行われた社会実験でのアンケート調査結果を基に分析を行った。社会実験は平成25年3月2日(土)、3日(日)の2日間に実施し、イベントが果たす役割や効果について分析を行った。

また、平成25年3月16日(土)には姫路市網干区興浜の住民を対象にワークショップを実施し、旧水井家住宅を活用した住民主体のまちづくりに向けた意見の把握を行い、イベント実施を地域主体のまちづくりへ展開していくための手法について検討を行った。

### 3. 網干地区の概要

姫路市網干地区は姫路市の南西部に位置する面積13km<sup>2</sup>の地域で、揖保川下流東岸と大津茂川下流西岸に挟まれた一帯である。主要交通は、姫路から室津へ向かう室津道が東西に通過していた。現在は、室津道と並行して国道250

号線が通り、鉄道は南伊山陽電鉄網干線、北にJR山陽本線が通っている。

網干地区は近世丸亀藩の港を中心として発達した町場の興浜や龍野藩の新在家、魚吹八幡神社の門前町宮内があったが、大部分は農業を主とする集落であった。

現在、姫路市内で都市景観重要建築物等に指定されている建築物は41件あるが、その内の7件が網干地区内に点在しており(表-1)、姫路市内においても歴史的建造物や町並みを多く残す地域と言える。

本研究で着目した旧水井家住宅も平成23年10月に姫路市都市景観重要建築物等に指定されており、網干区興浜に立地している。

表-1 網干地区内にある都市景観重要建築物等 一覧

名称	所在地	建築年代
山本家住宅	網干区興浜	明治初期、大正7年(1918)
外国人技師住宅(旧図書館) —ダイセル異人館—	網干区新在家	明治43年(1910)
外国人技師住宅(クラブハウス) —ダイセル異人館—	網干区新在家	明治43年(1910)
旧網干銀行本店(現婦人服飾 タケダ)	網干区新在家	大正末期
加藤家住宅	網干区余子浜	江戸末期
片岡家住宅	網干区新在家	18世紀初期
旧水井家住宅	網干区興浜	大正11年(1922)

旧水井家住宅が立地している網干区興浜は、平成25年3月末現在の人口が3,816人となっており、10年前の人口(平成15年:4,092人)と比較すると減少傾向にある。

また、高齢化が進行しており、平成25年3月末現在で高齢化率が38.2%となっている。姫路市全体の高齢化率が23.0%であることから、市内においても高齢化が進行している地域といえる。

### 4. 旧水井家住宅の概要

旧水井家住宅は、戦前まで材木問屋を営んでいた当主の住宅であった。平成22年11月に姫路市に寄附され、現在は、姫路市によって維持管理が行われている。

主屋は大正11年(1922)に建てられており、間口8.5間、奥行5.5間の本2階建てと、東端に間口1.5間、奥行4.3間、西端に間口2.5間、奥行3間の平屋建てから構成された2階建入母屋造りである。また、内部は2列4間取りとなっている(図-2)。

土蔵は大正3年（1914）に建てられており、木造2階建て切妻本瓦葺となっている。

旧水井家住宅は網干区興浜の旧室津道である市道網干1号線に面して立地しており、丸亀陣屋跡や山本家住宅（姫路市都市景観重要建築物等）などとともに、歴史的な町並みを形成する重要な要素となっている。

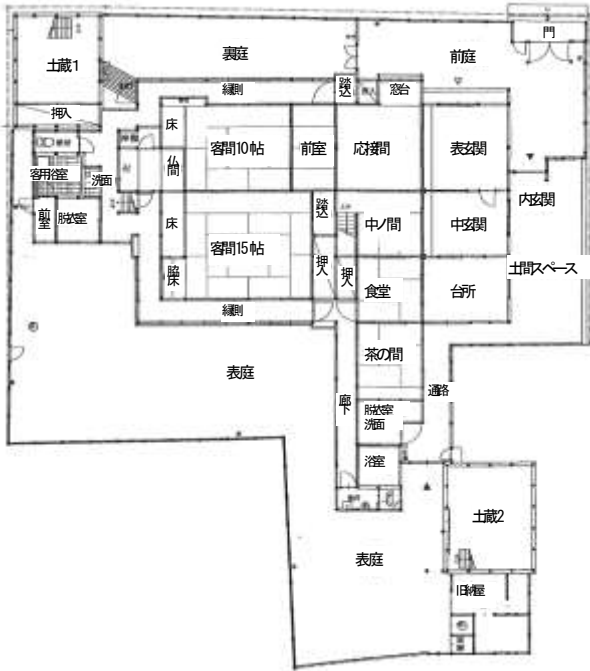


図-1 旧水井家住宅1階平面図（姫路市提供）

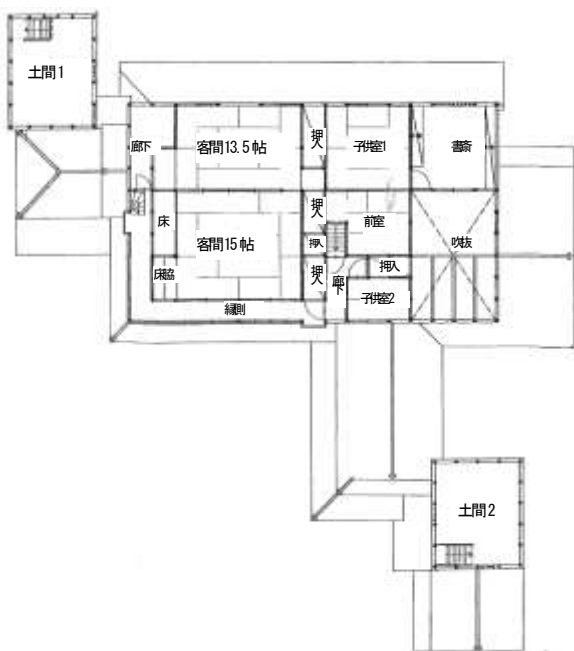


図-2 旧水井家住宅2階平面図（姫路市提供）

## 5. 旧水井家住宅を核とした歴史的景観まちづくりに向けた社会実験の実施

### 5-1. 社会実験の概要

姫路市が実施している「姫路まちなかあるき 網干」の一環として、平成25年3月2日（土）、3日（日）の2日間、旧水井家住宅の主屋1階部分の一般公開を行った。一般公開の際には、応接間を活用して網干の町並み絵画展を実施するとともに、客間を活用してお茶会を開催した（写真-1）。

また、来訪者に対しては、社会実験に対する評価や旧水井家住宅の今後の活用方法についてのアンケート調査を実施した。

2日間の来訪者数は170人であり、そのうち78.2%にあたる133人からアンケート調査に対する回答が得られた。



写真-1 社会実験におけるお茶会の様子

### 5-2. 回答者の属性について

回答者の男女比は、男性：女性が4：5程度となっている。また、回答者の年齢は、「60代」と回答した割合が32.3%で最も高く、次いで「70代」が27.8%となっており、50歳以上が全体の8割を占めている（図-3）。

回答者の居住地は、「網干地区以外の姫路市内」と回答した割合が38.3%で最も高くなっており（図-4）、既存のイベントに合わせて社会実験を実施したことで、網干地区外からも広く来訪してもらうことが出来たと考えられる。

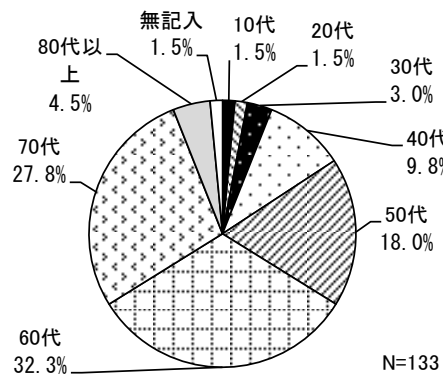


図-3 回答者の年齢

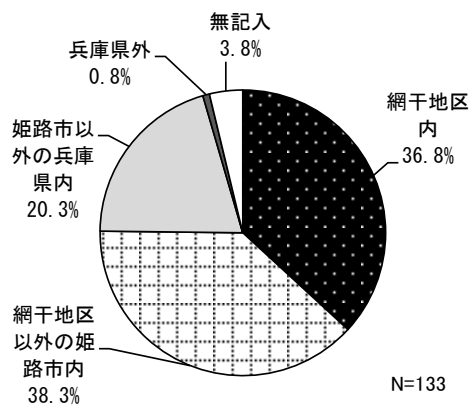


図-4 回答者の居住地

### 5-3. 旧水井家住宅の認知度について

旧水井家住宅とのかかわりでは「これまで旧水井家住宅の建物を知らなかった」と回答した割合が54.1%で最も高く、次いで「建物は知っていたが内部は初めて見学した」が38.3%、「以前開催された一般公開等の際に見学したことがある」が6.0%となっている(図-5)。

旧水井家住宅は個人住宅であったため、姫路市に寄附されるまでは一般公開等が行われることはなかった。平成22年11月に姫路市に寄附されてからは、平成24年5月に一度、一般公開が行われたが、定期的な公開は行っていなかったため、現時点での認知度は非常に低いことが分かった。

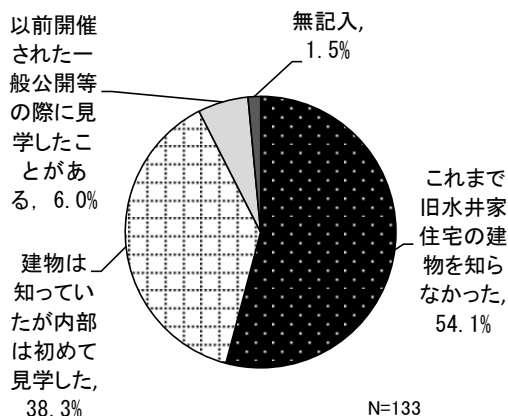


図-5 旧水井家住宅とのかかわり

### 5-4. 旧水井家住宅の今後の活用方法について

旧水井家住宅の今後の活用方法については「まちあるき等のイベントに合わせた定期的な一般公開」と回答した割合が70.7%で最も高く、次いで「絵画展示等を行うギャラリー」が36.8%、「お茶や生け花等を行う文化交流施設」が35.3%となっている(図-6)。

「絵画展示等を行うギャラリー」と「お茶や生け花等

を行う文化交流施設」の活用方法に対する割合が高かったのは、今回の社会実験で絵画展とお茶会を実施していたことから、回答者が室内の活用方法を想像しやすかったことも影響していると考えられる。

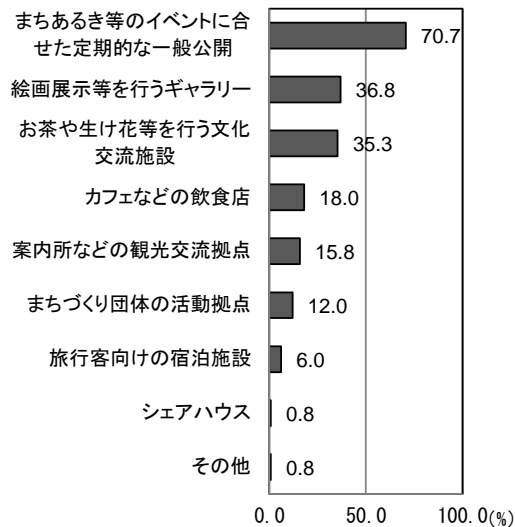


図-6 旧水井家住宅の今後の活用方法

### 5-5. 小結

社会実験のアンケート調査より、歴史的建造物や歴史的な町並みを活かしたイベントの実施は、伝統的集落内外の居住者に対して、地域固有の資源の認知度を高める上で非常に効果があることが分かる。しかし、イベントを数回実施するだけで、歴史的建造物や歴史的な町並みに対する意識を定着させることは困難であるため、定期的にイベントを開催することが非常に重要である。

また、地域固有の歴史資源を活かしたまちづくりの初期段階にイベントを開催する有益性として、住民に対して地域資源の具体的な活用方法を提示することが出来る点があげられる。住民に対して具体的な活用方法の事例を示すことにより、今後、住民が主体となって地域資源の活用方法を検討していく上で、空間の使い方などを想像しやすくする効果があるといえる。

そして、アンケート票の自由記述欄には地区内に住む住民から、「今後、旧水井家住宅を活用して何か行う場合は参加したい」といった意見が寄せられており、地域資源を活用してどのような取組が出来るかを見てもらうことにより、その活動に対する関わり方について住民が考える段階に進んでいくことが出来ると考えられる。

## 6. 旧水井家住宅を核とした歴史的景観まちづくりに向けた住民ワークショップの実施

### 6-1. 住民ワークショップの概要

平成25年3月16日(土)に網干区興浜の住民を対象としたワークショップを開催し、旧水井家住宅の今後の活用方法の意見交換を実施した(表-2、写真-2)。

ワークショップは始めに社会実験でのアンケート調査結果等の報告や他都市で行われている景観資源を活用したまちづくりを紹介した後、旧水井家住宅の今後の活用方法について意見交換を行った。

当日の地元住民の参加者は5名であった。

表-2 ワークショップのプログラム

プログラム	取組内容
開会挨拶 主旨説明	・趣旨説明、今日の進め方の説明
旧水井家住宅 社会実験 の報告	・社会実験の結果説明、アンケート結果報告 の報告
景観資源を活用したまち づくりの事例紹介	・景観資源を活用したまちづくりの事例紹介
意見交換会	・旧水井家住宅の今後の活用方法の検討
まとめ・講評	・意見交換会で出された意見のまとめ・講評



写真-2 意見交換会の様子

## 6-2. 住民の社会実験や旧水井家住宅等の地域資源に対する意識

ワークショップの意見交換会により、集落内の歴史的建造物や町並みに対する住民の関心が高まっていることを把握した。また、集落内の高齢化が進行していることから、今後、所有者の代替わり等の際に歴史的建造物が取り壊されていくことへの課題認識が高まっており、地域資源を守り育てるためのまちづくりに取り組む必要性についても意識が高まっていることが分かった。

しかし、ワークショップ参加者の中には、旧水井家住宅で実施した社会実験に参加した人がひとりも見られなかった。その理由として、地区外からも来訪者が訪れるようなイベントが開催された場合には、来訪者が優先的にイベントに参加できるように、集落内の住民はイベントへの参加を控えることが多いことが明らかとなった。

## 6-3. 小結

伝統的集落内の古民家を核としたまちづくりを進めていくためにイベントを実施することは、地域固有の資源に

対する認知度を高める上では非常に効果がある。しかし、集落内の地域資源を活用したイベントには地元住民が来訪者に遠慮して参加を控えるという状況も明らかとなった。

そのため、地区外の人も対象に含めたイベントを実施する際には、事前に地域住民のみが古民家との接点を持つる場を用意することが求められ、それは普段の生活の中で自然と足を運ぶことになるような状況を作ることが重要だといえる。

例えば、集落内には自治会や青年団など各種団体があり、地域の主要な人物は何等かの団体に属していることが多い。そのため、地域内にある各種団体の会合場所として利用してもらい、地域住民にとって身近な空間として認識してもらえようような取組を行っていくことが考えられる。

## 7. 旧水井家住宅を活用した歴史的景観まちづくりに関する考察

地域資源を活かしたまちづくりを進める初期段階において、旧水井家住宅で実施した社会実験のような古民家活用を核としたイベント開催を行うことは、地域内外で伝統的集落の認知度を高める上で効果があるといえる。しかし、アンケート結果からも分かるようにイベントを一度実施しただけではそれほど認知度が高まらないため、定期的なイベント開催を行うことが重要である。

また、地区外の人も対象としたイベントには地元住民が来訪者に遠慮して参加を控えるといった実態も見えてきたため、イベントの開催のみでは住民主体による歴史景観まちづくりを展開していくことは難しいといえる。そのため、地区内の住民に対しては日常的な利用を促す工夫を行いながら、地域内に残る古民家等の地域資源に対する関心や愛着を高めることが重要である。そして、日常的な利用の中からイベントの企画、運営に携わってくれる住民を増やしていくことにより、イベント開催を住民にとって地域への思いを共有できる場としていくことが求められる。

## 参考文献

- 1) 姫路市史編集専門委員会 (2001) 「姫路市史第1巻上」、姫路市
- 2) 姫路市、姫路市統計情報、日本語、  
<http://www.city.himeji.lg.jp/toukei/index.html>、2013/6/2 アクセス
- 3) 姫路市、「片岡家住宅」「水井家住宅」を都市景観重要建築物などに指定しました、  
[http://www.city.himeji.lg.jp/koho/press/\\_23638/\\_25668/\\_25847.html](http://www.city.himeji.lg.jp/koho/press/_23638/_25668/_25847.html)、2013/3/15 アクセス
- 4) 姫路市、都市景観重要建築物等、  
[http://www.city.himeji.lg.jp/s70/2212583/\\_7890/\\_7894.html](http://www.city.himeji.lg.jp/s70/2212583/_7890/_7894.html)、2013/6/18 アクセス